## 天理市埋蔵文化財センターだより Vol.21



〔主催〕 天理市教育委員会



## ◎平成27年度冬の文化財展

第1部 平成 26 年度発掘調査速報展

| 永井清繁氏の画帳 | 離のくらしーひいおじいちゃんのスケッチブックー

平成28(2016)年2月6日(土)~3月6日(日) **※** 9:00 ~ 17:00

※月曜日、2月11日(木・祝)は休館 会場:天理市文化センター1階展示ホール

◉文化財講演会

会場: 天理市文化センター1 階展示ホール

『第1回 福住のくらし関連』

日程: 平成28年2月13日(土)10:00~12:00 《第2回 平成26年度発掘調査速報展関連》 日程:平成28年2月21日(日)14:00~16:30

天理市内には、原始・古代から近現代に至 る数多くの文化財が所在します。天理市教育 委員会文化財課では、平成18年度より夏と冬、 年2回の文化財展示をおこない、市内の文化 財と市の歴史について理解を深めていただけ るよう努めています。

今回は平成27年度冬の文化財展特集とし て、平成26年度に天理市教育委員会がおこ なった7件の発掘調査成果と、天理市東部の 山間部に位置する福住町の明治末期から昭和 初期のくらしを活き活きとした筆致で描いた 永井清繁氏の画帳をご紹介いたします。

#### 会 文化財課 天理市教育委員

#### 平成 26 年度発掘調査速報展 第Ⅰ部

天理市教育委員会文化財課は市内遺跡を対象とした発掘 調査を実施しています。 今回は平成 26(2014) 年度にお こなった7件の発掘調査の成果をご紹介いたします。

- ●西乗鞍古墳第4次 ②豊田トンド山古墳
- 3成願寺遺跡第21次 ○布留遺跡세之内地区
- ⑤前栽遺跡第9次 ⑥小路遺跡第6次 ◎小路遺跡第7次



#### 西乗鞍古墳 第4次

にしのりくらこふん



西乗鞍古墳は杣之内古墳群南部で最 大の前方後円墳(長さ約118m)です。 墳丘を取り巻く平坦地で発掘調査を実施 しました。墳丘の北側や南側に内濠と外 堤が遺存していることが明らかになり、 出土遺物から築造時期が5世紀末頃であ ることも判明しました。

今回の調査により、墳丘を取り巻く平 坦地が墳丘本体と一体的に保存すべき地 形であることが明らかになりました。



## 豊田トンド山 古墳

とよだとんどやまこふん







都市計画道路別所丹波市線事業に伴う発 掘調査で、未知の横穴式石室が新たに発見 されました。見つかった横穴式石室は全長 約9.4 mあります。最大で一辺の長さ約3 mに及ぶ巨石を積み上げて壁面を構成して います。石室内は盗掘を受けていましたが、 出土した須恵器等の特徴から7世紀前半の 築造と推定されます。

地元に伝わる地名から、「豊田トンド山古 墳」と命名しています。

#### 成願寺遺跡 第 21 次

じょうがんじいせき



平成 26 年8月 25 日 平成 26 年9月1日

住宅建設に伴いフサギ塚古 墳の南側で調査を実施しまし た。近世以降の開墾による削 平が大きく、古墳に関わる遺 構は確認できませんでした。



## 布留遺跡 杣之内地区

ふるいせきそまのうちちく



駐車場造成に伴い布留町で 試掘調査をおこないました。 弥生中期~古墳時代の柱跡な どを確認したほか、古墳時代 後期には大規模な盛土造成が なされていました。拠点集落 としての布留遺跡の成り立ち を考える上で貴重な成果と言 えます。

平成27年2月16日 平成27年3月20日

前栽遺跡 第9次 せんざいいせき

市立メディカルセンター新 築に伴い調査を実施しまし た。現地は近現代の削平が著 しく、時期不明の自然流路1 条だけを確認しました



小路遺跡 第6次 しょうじいせき



宅地造成工事に伴い小路町 内で調査しました。川跡から 縄文土器が出土しました。



小路遺跡 第7次 しょうじいせき

宅地造成に伴い発掘調査を おこないました。第6次調査 で確認した自然流路の続きを 確認したほか、古墳時代前期 の土器も出土しました。



共催:帝塚山大学

## 第Ⅱ部 永井清繁氏の画帳 福住のくらし一ひいおじいちゃんのスケッチブックー

永井清繁氏は福住で生まれ育ち、家業のかたわら福住の昔の暮らしを画帳へ記録し、後世に伝えました。地元では日本画家を志すほどの画才と大変な博学で知られる人物で、氷室神社に秋祭りの渡御の扁額が奉納されているほか、「福住音頭」の作詞などで知られています。

永井氏が残した画帳には、節供や正月など季節の催しや、初誕生や嫁入りなどの人生の節目に行う行事、あるいは田おこしのような生業や、米屋や豆腐屋などの商い、大工や鍛冶職人の様子や服装など、明治末期から昭和初期の福住のすがたが克明に描き出されています。またこれらの絵には、場面説明と共に多数の民俗語彙が書き込まれています。さらに永井氏自らが音声を吹き込んだ解説が残されており、当時の生活を知るうえで具体的かつ大変貴重な資料となっています。



永井清繁 氏(1905-1999)



天理市福住の位置

帝塚山大学の民俗学専攻の院生と学部生たちが、これらの絵のなかからハレとケに関するものを選び出し展示に臨みます。「中村」

永井清繁は私のひいおじいちゃんです。ひいおじいちゃんは生前、絵を描くことが大好きで、終戦後、町の人の生活が大きく変わったことをきっかけに子どもや孫たちの代に昔の生活の様子を伝えたいと思い風俗絵を描き始めたそうです。スケッチブックにはたくさんの絵が描き残されていますが、そのなかの1枚を少しだけご紹介させていただきます。

この絵はお盆の様子を描いたものです。8 月13日~15日の間は家の仏様のタナマツリをおこないます。仏壇の前に机を置き、

普段はしまってある位牌を全て並べ、蓮の葉の上に盛ったごちそうや麻殻の箸をお供えします。1年以内になくなった人は別に家の軒下に新棚を作り、位牌をまつります。この新棚は仏壇ができる以前の形態の名残と考えられています。

13日の夕方、仏様をお迎えするために麻殻を小さい東にして作った2本のたいまつを家の門口で燃やし、13、14日の晩は家族が集まって御詠歌を唱えます。

そして15日にはお供えに使っていたものを近くの深江川に流しに行き、夕方、今度は仏様を送り出すためのたいまつを家の門口で燃やします。

まだまだ書き足りないことがたくさんありますが、絵のなかに描かれた年中行事や人生儀礼にはいろいろな意味が込められています。それを知っていただくきっかけになれば嬉しく思います。また、昔の懐かしい生活を思い出す展示をしておりますので、ぜひお越しください!



# 出動! 発掘現場レポート!!

平成 27 年度上半期の調査

天理市教育委員会は平成 27(2015) 年度上半期に発掘調査を2件 実施しました。ここではその成果をいち早くお知らせいたします。

#### ■田町遺跡第2次

店舗建設に伴い田町で発掘調査をおこないました。古墳時代の集 落域の東側を調査しましたが、地盤は軟弱で集落域からは外れてい たようです。

#### ■薬師遺跡第2次

宅地造成に伴い石上町で発掘調査をおこないました。確認できた 遺構は中世が中心でしたが、遺物には埴輪などもみられ、古くから 開けた土地であったようです。

## 平成 27 年度の調査成果は 来年度の文化財展で 展示するよ!



※「天理市埋蔵文化財センターだより」Vol.22 は平成 28 年度夏に発行予定です。 お楽しみに!



■平成 27 年度上半期の調査遺跡



■薬師遺跡第2次 調査区全景

発行◆天理市教育委員会文化財課 天理市埋蔵文化財センター 〒 632-0017 奈良県天理市田部町 320 Tel·Fax 0743-65-5720

印刷◆